

週報



<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ
～ 響き合う礼拝とひろば ～

<年間テーマ> 希望の主と共に歩む

< 聖 句 >ローマの信徒への手紙15章13節

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる
喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって
希望に満ちあふれさせてくださるよう。

◀神戸教会は2020年に宣教開始70周年を迎えました。▶

「自分の十字架を背負ってイエスに従う」

「わたしはエルサレムに行く必要があり、そこで長老、祭司、律法学者から多くの苦しみを受けて殺される。そして三日目に復活する。」イエス・キリストはいよいよ弟子たちに打ち明け(説明し)始めました。これを聞いたペトロは、「あなたはメシア、生ける神の子です」と告白していたにも関わらず、イエスさまの言っていることをいさめ(厳しく警告し)始めています。そしてイエスさまは、ペトロに「サタン、引き下がれ」と言います。岩波訳聖書では「サタン、私の背後に失せろ」と訳されています。つまり、ペトロはここでイエス・キリストのメシア像を理想化しており、イエスさまご自身を後ろに追いやってしまっていたのです。これは偶像礼拝です。同じ「メシア」という言葉でもペトロとイエスさまのイメージは異なります。続いてイエスさまは弟子たちに「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って私に従いなさい。」と言いました。この文脈では自分を捨てるとは、自分の理想を捨てるということです。また、自分の十字架とは「自分の罪」ではありません。罪はまさに自分自身のものだからです。むしろ十字架とは他者から背負わされるものであり、言い換えれば他者の重荷であります。つまり「自分のために生きるのではなく、他者のために生きなさい。その時に、あなたはまことの命を得るのだ。」イエスさまは私たちにそのような生き方へと招いているのです。

【西脇慎一】

日本バプテスト連盟 神戸バプテスト教会 牧師 西脇慎一

〒650-0003 神戸市中央区山本通1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: kobe-church.com 事務局Eメール: jimukyoku@kobe-church.com

主日礼拝	毎日曜日	午前10:30~11:45
共育のひろば	毎日曜日(第3週除く)	午前11:45~12:40(当面お休みです)
	(幼児クラス・小学生クラス・中高生クラス・成人クラスA・B・C)	
幼稚園C・S	毎日曜日	午前9:00~10:20(当面お休みです)
ひまわりひろば	毎日曜日	午前9:00~10:20(当面お休みです)
月曜ひろば	第1・3月曜	午前9時半~11時(当面お休みです)
祈祷会	毎水曜日	午後7:00~8:15
	第2・4水曜	午前10:30~12:00(当面お休みです)

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入など、
ご相談のある方は牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

◆朝 10 時と夜 8 時に共にお祈りの時を持ちましょう。

- 1、新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束に向かいますように。
- 2、感染した方々の癒しとご家族の守りと、緊張とストレスの中、診療に当たられている医療従事者を始め、福祉職の方々、人々の日常生活を支えている多くの方々の守りのために。
- 3、コロナ禍で経済的な困難の中にいる個人事業主、非正規雇用の方々の守りのために。
- 4、子どもたちの心の守りと成長の祝福。そしてご家庭の守りのために。
- 5、光の丘幼稚園の園児・保護者・教職員の守りのために。主の守りと導きをお祈りください。
- 6、困難の中にいる方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。
- 7、ミャンマーで起きている市民への弾圧からの守りのために。自由と平和が実現しますように。
- 8、イスラエルとパレスチナ、アフガニスタンに住む人々のいのちの守り、平和と和解のために。
- 9、自然災害が増えています。猛暑や台風や局所的な豪雨の被害に遭われた方々の為に。
- 10、兵庫県に緊急事態宣言(8/20-9/12)が発令されました。それぞれの場所で献げられる礼拝のために、信仰生活の守りのために。

【連盟・連合・他教会の祈り】

- ◆日本バプテスト連盟の全国 317 の教会・伝道所のために。また関西地方教会連合の36教会のために。特に無牧師の神戸新生。休会中の神戸国際、大阪旭のためにお祈りください。
- ◆9 月 23 日(木)10:30-14 時、関西地方連合信徒大会はテーマを「共に」としてオンラインで行われます。コロナ下での連合諸教会の働きを分かち合い、今後の交わりの在り方を考える時となります。参加希望者は牧師・事務局までお知らせください。

交読「祈り（詩編八四編）」

万軍の主よ、あなたのいますところは、どれほど愛されていることでしょうか。

主の庭を慕って、わたしの魂は消え入りそうです。

命の神に向って、わたしの身も心も叫びます。

あなたの祭壇に、鳥は住みかを作り、つばめは巢をかけて、雛を置いています。

万軍の主、わたしの王、わたしの神よ。いかに幸いなことでしょうか、

あなたの家に住むことができるなら、

まして、あなたを賛美することができるなら。

いかに幸いなことでしょうか。

あなたによって勇気を出し、心に広い道を見ている人は。

嘆きの谷を通るときも、そこを泉とするでしょう。

雨も降り、祝福で覆ってくれるでしょう。

彼らはいよいよ力を増して進み、

ついに、シオンで神にまみえるでしょう。

万軍の神、主よ、わたしの祈りを聞いてください。

ヤコブの神よ、耳を傾けてください。

神よ、わたしたちが盾とする人を、ご覧になり

あなたが油注がれた人を願みてください。

あなたの庭で過ごす一日は千日にまさる恵みです。

主に逆らう者の天幕で長らえるよりは、

わたしの神の家の門口に立っているのを選びます。

主は太陽、盾。

神は恵み、栄光。

完全な道を歩く人に主は与え、

良いものを拒もうとはなさいません。

(二) 同 万軍の主よ、あなたに依り頼む人は、いかに幸いなことでしょうか。